| 学校番号 | T3011 |
|---|---|

# 令和８年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | （学）数学教養 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ４年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 教員作成教材 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

週に２回の授業です。日常生活や社会に関わる数学をテーマに授業を行っていきます。
まずは、自分の中の「わからない」を見つけましょう。説明文や式変形の、どこがわからなくなったのかをはっきりさせましょう。そうして見つけた「わからない」を「わかる」に変えるには、説明を繰り返し聞いたり方法を真似してみたりしながら、時間をかけて考える必要があります。授業のなかでしっかり考える時間を大切にしましょう。わかったと感じたときは、繰り返し練習問題を解くなどして、「わかる」を「できる」に変えましょう。課題提出を定期的に要求します。授業時間外の学習でも、何がわからないかをはっきりさせながら課題に取り組むようにしましょう。
また、小テストや定期考査に加え、各単元の最後にパフォーマンス課題を行います。日常生活にどのように活かされるのか考えながら取り組みましょう。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
身の回りに関係する事象を数式化したり、数学的な計算、処理をしたりすることに関係する知識・技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
身の回りに関係する事象について、数学的な知識・技能を用いて判断、考察を行い、表現する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度､粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 「身の回りに関係する数学」に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、それらを用いて身の回りの事象を数学的に解釈したり、計算・処理したりする技能を身に付けている。 | 日常生活や社会の事象の中から問題を見出し、数学的な知識・技能を活用して多角的に考察し、論理的に判断している。また、問題解決の課程や結果を適切に表現する力を身に付けている。 | 数学を生活に役立てようとする姿勢を持ち、粘り強く考え数学的に考察しようとし、自分の学習過程を振り返ることで、考察をさらに深めたり改善したりしようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 数的処理 | ・集合<br>・比<br>・推論 | a:身の回りの事象を数学的に解釈したり、計算・処理したりする技能を身に付けている。<br>b：数学的活動を通して、事象を数学的に捉えるための見方考え方を身に付け、論理的に考察し、問題解決の課程を適切に表現することが出来る。<br>c：問題に対して粘り強く考えて数学的に考察しようとし、自分の学習過程を振り返ることで、考察をさらに深めたり改善したりしようとしている。 | プリント<br>小テスト<br>定期考査<br>など | プリント<br>パフォーマンス課題<br>など | プリント<br>パフォーマンス課題<br>ふり返りシート<br>授業観察<br>など |
| | 割合 | ・割合<br>・比べる量ともとの量<br>・百分率と歩合<br>・アルコール度数と運転 | a：割合・百分率・歩合の基本的概念を理解し、割合・比べる量・もとの量を導出する技能を身に付けている。<br>b：数学的活動を通して、事象を数学的に捉えるための見方考え方を身に付け、論理的に考察し、問題解決の課程を適切に表現することが出来る。<br>c：問題に対して粘り強く考えて数学的に考察しようとし、自分の学習過程を振り返ることで、考察をさらに深めたり改善したりしようとしている。 | | | |
| | | ・割引と割増<br>・2 段階の割引・割増<br>・単利と複利<br>・ローンの返済 | a：割引・割増を踏まえた割合に変換する技能や、割引・割増後の値を導出する技能を身に付けている。<br>b：数学的活動を通して、事象を数学的に捉えるための見方考え方を身に付け、論理的に考察し、問題解決の課程を適切に表現することが出来る。<br>c：問題に対して粘り強く考えて数学的に考察しようとし、自分の学習過程を振り返ることで、考察をさらに深めたり改善したりしようとしている。 | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 速さ | ・速さ<br>・距離と時間<br>・等速直線運動のグラフ<br>・制動距離 | a：速さ・距離・時間の関係性を理解し、それぞれの値を導出する技能や等速直線運動のグラフから速さ・距離・時間を読み取る技能を身に付けている。<br>b：数学的活動を通して、事象を数学的に捉えるための見方考え方を身に付け、論理的に考察し、問題解決の課程を適切に表現することが出来る。<br>c：問題に対して粘り強く考えて数学的に考察しようとし、自分の学習過程を振り返ることで、考察をさらに深めたり改善したりしようとしている。 | | | |
| | 確率 | ・事象の確率<br>・余事象の確率<br>・ゲームのガチャと確率<br>・期待値<br>・宝くじの期待値 | a：確率・期待値の基本的概念を理解し、それぞれの値を導出する技能を身に付けている。<br>b：数学的活動を通して、事象を数学的に捉えるための見方考え方を身に付け、論理的に考察し、問題解決の課程を適切に表現することが出来る。<br>c：問題に対して粘り強く考えて数学的に考察しようとし、自分の学習過程を振り返ることで、考察をさらに深めたり改善したりしようとしている。 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度